

健康知恵袋

40歳を過ぎたら乳がん検診を受けましょう

乳がん

乳がんの症状は、しこり、乳頭から血の混じった分泌物が出る、乳頭の陥没、ただれ、皮膚のくぼみ、痛み、わきの下のしこりなどさまざまです。

細胞ががん化して増え始めるとしこりになりますが、初期には全身症状がほとんどありませんので放置されやすい傾向があります。乳房の変化に気づかず放置しておく、乳腺の外にまでがん細胞が増殖し血管やリンパ管を通じて全身へと広がっていきます。

女性の壮年層は要注意

日本女性の20人に1人は乳がんにかかるといわれています。

乳がんによる死亡も年々増加し、今では年間で約1万人の方が亡くなっており、女性の壮年層（30～64歳）のがん死亡原因の第1位となっています。

乳がんを予防することは難しいですが、早期がんでの治療では約90%の方が治ります。早期発見の為に、マンモグラフィ検診や自己検診などによる定期検診が重要です。

マンモグラフィ検診

黒潮町では、乳がん検診としてマンモグラフィ検診を実施しています。

マンモグラフィとは、乳房のX線撮影のことです。

乳房を片方ずつX線フィルムを入れた台と透明なプラスチックの板ではさみ、圧迫して撮影することで、乳房内部の様子を鮮明に写しだすことができます。

マンモグラフィでは、手に触れないような直径3ミリの小さなしこりを発見することができます。

平成22年度は、8月2日(月)から各地区で実施します。詳しい日時・場所については広報「健康カレンダー」などによりご確認ください。ご都合の良い場所で受診することも可能です。

黒潮町の乳がん検診の受診状況

年度	検診	対象者	受診者	受診率
19	乳がん検診	2,188人	542人	24.8%
20	乳がん検診	2,240人	590人	26.3%
21	乳がん検診	2,021人	500人	24.7%
	女性特有のがん検診推進事業	464人	182人	39.2%

【対象者】(平成22年度)
平成23年3月31日において満年齢が偶数歳になる40歳以上の女性
【料金】600円

女性特有のがん検診推進事業

平成22年度も「女性特有のがん検診推進事業」を実施します。対象年齢に該当する女性に対してマンモグラフィ検診費用が無料になる検診無料クーポン券を送付します。

「女性特有のがん検診推進事業(乳がん)」検診無料クーポン送付対象者

年齢	この間の誕生日の方が対象となります。
40歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日
45歳	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日
50歳	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日
55歳	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日
60歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日

※平成22年3月31日現在の年齢です。

マンモグラフィにより、視触診では分からない早期がんの発見が可能になります。早期がんの場合では、治療も容易になるとともに、乳房温存療法が可能な場合も多くありますので、術後のQOL(生活の質)を維持することができます。

定期的な乳がん検診を受診し、がん予防に努めましょう。

お問い合わせ
本庁健康福祉課保健衛生係
☎43-2836(直通)

佐賀支所総合センター
☎55-7373(直通)

当直医療機関一覧表

月	日	四万十市		宿毛市	
8月	1日(第1日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	幡多けんみん病院	☎0880-66-2222
	8日(第2日曜日)	吉井病院	☎34-5005	聖ヶ丘病院	☎0880-63-2146
	15日(第3日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	沢田医院	☎0880-63-2304
	22日(第4日曜日)	中村クリニック	☎34-5100	田村内科クリニック	☎0880-63-1668
	29日(第5日曜日)	さくらクリニック	☎35-2555	川村内科クリニック	☎0880-66-2911
9月	5日(第1日曜日)	四万十市民病院	☎34-2126	奥谷整形外科	☎0880-63-1202

※当直医は変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。